

除雪ステーションを有効活用した 「サイクル拠点」社会実験を実施します

～羊蹄ニセコ地域に訪れて、サイクリングをするとき、便利に使えます～

羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称YNCA）では、羊蹄ニセコ地域のサイクルツーリズムを推進させるためのサイクリスト受入環境の改善に向け、冬期道路管理のための専用施設である「除雪ステーション」を夏場の非稼働期に、サイクリストの専用駐車場（発着拠点）として有効活用する社会実験を行い、地域観光の推進への有効性を検証します。

羊蹄ニセコ地域は、近年、国内外から大勢のサイクリストが訪れていますが、一方、ニセコ町の道の駅を拠点としてサイクリングを楽しむ人も多く、道の駅の駐車場が、慢性的な飽和状態となるなど課題となっているところです。

今回、本社会実験において、道の駅の近隣にある国道5号ニセコ除雪ステーションを、夏期の非稼働期にサイクリスト専用駐車場として開放し、発着拠点として有効活用することにより、サイクリストの受入施設不足、道の駅の負担軽減、道路管理のコスト縮減等の課題解決の可能性について検証します。今後、有効性が認められた場合は、他地域における展開について検討していく予定です。

記



- （1）実施期間 9月14日（土）から10月14日（月）までのうち、土日祝日に実施
- （2）実施場所 国道5号 ニセコ町 ニセコ除雪ステーション（ニセコ町字元町61番地）
- （3）実験主体 羊蹄ニセコ自転車走行協議会
- （4）実施内容 詳細は別紙を参照願います
- （5）その他 9月14日（土）10時～12時にYNCA主催によるオープニングセレモニー等を開催致します

※小樽開発建設部では、第8期となる北海道総合開発計画にある「世界水準の観光地」を目指すサイクルツーリズム等の振興等に基づき、地域の取組みを応援、支援しています。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】

実験内容 羊蹄ニセコ自転車走行協議会
倶知安町総合政策課 課長 柳澤 利宏（電話番号0136-56-8001）
ホームページアドレス <https://ynca.fun/>

社会実験制度 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部
道路計画課長 瀬能 博之（電話番号0134-23-5229）
ホームページアドレス <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>

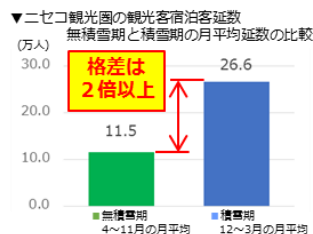


実験地域の概要

○羊蹄ニセコ山麓地域では、夏場の観光振興に向け、サイクルツーリズム推進が活発化

・北海道後志地域は世界有数のスキーリゾートを有し、年間約2,300万人の観光客が訪れる北海道を代表する観光エリア。2019年“G20観光大臣会合”が倶知安町で開催。

・しかし、観光客の多くが積雪期に訪れている現状（積雪期と無積雪期の観光入り込み偏在が2倍以上）であり、夏期の観光推進に向け、地域が取り組んでいる状況。



・当該地域では、国際自転車競技連合(UCI)傘下の国際市民レース「ニセコクラシック」など多数の自転車イベントが盛ん。

・サイクリストの裾野を更に広げるため、地域では官民一体となり「羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称YNCA）」を設立し、サイクルツーリズムを推進。

○実験箇所は地域のサイクルルートの中核部で、道内外から多くのサイクリストが集まるところ

・YNCAでは、サイクリングコースを整備し、管外から、広域周遊等の様々なサイクリストの誘致に取り組んでいるところ。

・当該実験箇所は、サイクルルートの中に位置しており、多くのサイクリストが集まるところ。



現状と課題

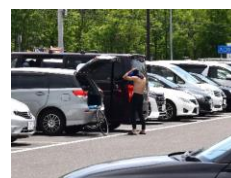
○サイクリストが安心して発着拠点とできる受入施設が無い

・遠方から自家用車で訪れるサイクリストは、道の駅を中心拠点として自転車による周遊を行っており、道の駅での長時間の駐車が他の観光目的の駐車場利用者の阻害となっている状況であるが、近隣にサイクリストの発着拠点として利用できる箇所がない。

・今後サイクリストの増加により長時間の駐車が増加すれば、他の観光目的の駐車場利用者の更なる阻害となる懸念がある。



ニセコ道の駅混雑状況



サイクリスト利用状況①



利用状況②



ニセコ除雪ステーション

○道路施設「除雪ステーション」は、夏場非稼働期でも維持管理が必要

・積雪寒冷地域の冬期道路管理として除雪は必須であり、除雪ステーション(除雪車等の駐車・待機場所)が管理施設として必要。

・除雪ステーションは夏場の稼働は無いが、近隣田畑等への配慮から、草刈りや清掃等、夏場の維持管理は必要になっている。

解決策

○道の駅に隣接する「除雪ステーション」を、夏の非稼働期にサイクリスト専用の駐車場として開放し、発着拠点として有効活用

・道の駅ニセコビュープラザに近接する、道路区域内の「除雪ステーション」を、夏期の非稼働期に有効活用することで、サイクリスト専用の駐車場として有効利用。道の駅の負担軽減に寄与。

○サイクリストの発着拠点として利便性の高いサービスを提供

・基本となる駐車場のほか、サイクリストに必要な道路・観光情報の提供や、レンタサイクル、自転車用品・飲食の販売、自転車修理のサービス提供などの収益事業を含む活動を実施し、サイクリストの受入環境を改善。

実験の内容

(1) 実験の内容

- 国道5号ニセコ町にある「ニセコ除雪ステーション」で、遠方から車で羊蹄ニセコ地域を訪れるサイクリストが安心して長時間駐車が出来場所として有効活用。

検証項目：道の駅における自動車利用者の負担軽減（サイクリストの転換による近隣道の駅での一般駐車場利用者の負担軽減）

- 実施主体は「羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称YNCA）」で、基本となる駐車場のほか、サイクリストに必要な道路・観光情報の提供や、レンタサイクル、自転車用品・飲食の販売、自転車修理のサービス提供などの収益事業を含む活動を実施。

検証項目：地域観光推進（サイクリスト発着拠点の確保、サービスの提供によるサイクリストの満足度向上）

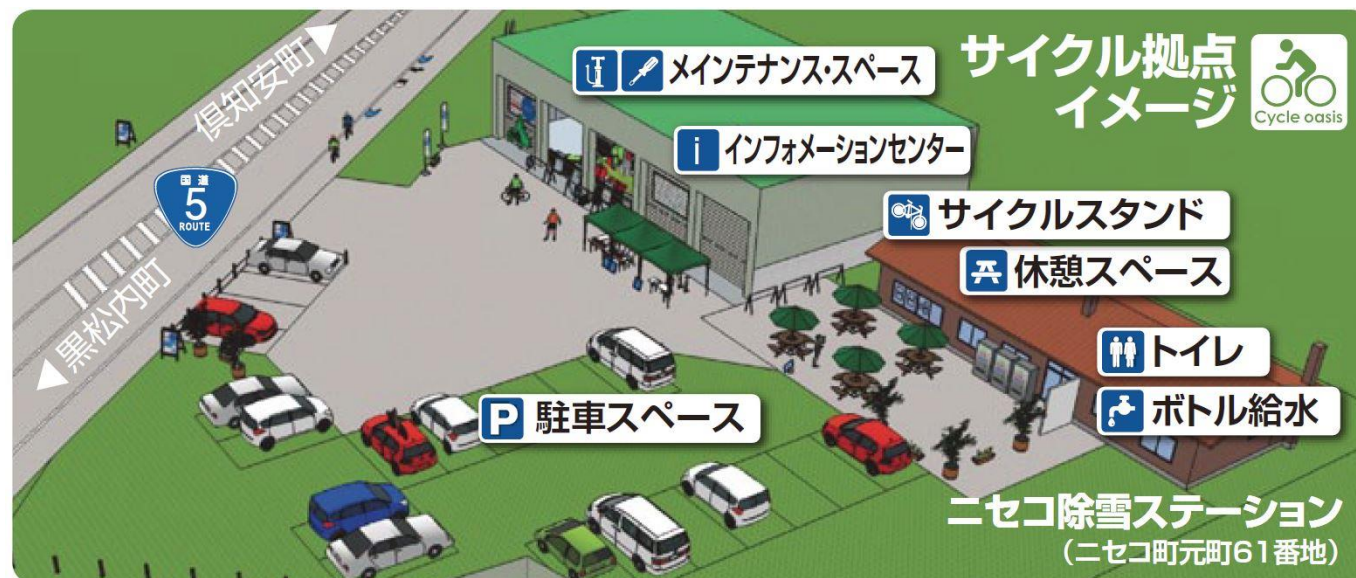
道路維持管理費のコスト縮減（地域団体の事業活動による草刈り等の維持管理費への還元）

(2) 実施の期間 令和元年9月14日（土）～令和元年10月14日（月・祝日）のうち、土日祝日（7時～17時）に実施

(3) 実施主体 羊蹄ニセコ自転車走行協議会（通称YNCA）

構成員：YNCA(羊蹄ニセコ自転車走行協議会：倶知安町、ニセコ町、蘭越町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町)

オブザーバー：北海道後志総合振興局、北海道開発局小樽開発建設部



使用しない時期の有効活用

- サイクリストの受入環境改善
- 近隣道の駅の負担軽減、除雪ステーションの維持管理費軽減

今後の地域観光振興に資する環境整備に充当する手法を検討

- 受入環境整備への充当（サイクルラック、工具等）
- 情報発信の経費に充当（快適で安全・安心な道路情報）（ルール・マナーの啓発 等）